

授業科目名	1 級整備作業 II	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	70 時間
担当者	伊東 良浩	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科（4年課程）	4年	開講時期	○ 前期	後期 通年
到達目標	整備工場で行われる多頻度定型作業を復習し，体験実習の準備を行う。				
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～3	体験実習に臨むにあたり，必要とされる挨拶，礼儀，マナーを理解する			
	4～68	点検作業での良否判断を行い，ユーザーへのロールプレイングを行う			
	69～70	体験実習に臨むにあたり，社会人としての心構えを理解する			
評価方法	日常の授業態度，習熟度テスト，期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	一級自動車整備士総合診断・環境安全・安全管理（日本自動車整備振興会連合会），各修理書				
関連科目					
連絡事項	定期試験として，前期に試験を実施する。 試験時間は50分とする。 試験範囲や配付資料については，随時連絡する。				

授業科目名	体験実習		必修/選択	必修	授業時間数(50分)	200 時間		
担当者	伊東 良浩		担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務			
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程)	4年	開講時期	○	前期	後期	通年	
到達目標	1.教育の場を学校から企業に移し、学んできた理論と技術を実践的な場で高める。 2.体験実習を通し、企業内で行われる業務内容を習得する。							
授業形態	講義	○	実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△			
授業計画	回数	授業内容					備考	
	1～10	企業の各部署の業務内容と人員配置や設備等を理解する。						
	11～60	職場内のコミュニケーション能力を身につけ、接客能力を習得する。						
	61～170	整備作業を体験しつつ、部品発注システムや記録簿作成を習得する。						
	171～200	職場の安全意識と実務における工夫・改善方法を習得する。						
評価方法	体験実習先へのヒアリングによる。							
教科書・参考図書	一級自動車整備士総合診断・環境安全・安全管理（日本自動車整備振興会連合会），各修理書							
関連科目								
連絡事項								

授業科目名	評価実習	必修/選択	必修	授業時間数(50分)	570 時間
担当者	伊東 良浩	担当者実務経験		自動車販売店の整備士として勤務	
対象学科・学年	1級自動車工学科 (4年課程) 4年	開講時期	前期	後期	○ 通年
到達目標	1.体験実習を通して学んだ内容を念頭に、実務にリンクした目標設定を行う。 2.各作業項目を効率化するための作業分析と環境改善の進め方を理解する。				
授業形態	△ 講義	○ 実習	演習	※ 主たる方法：○ その他：△	
授業計画	回数	授業内容			備考
	1～5	体験実習で学んだ内容を、互いに発表共有し将来像や目標を確認する。			
	6～550	定型作業や点検作業、故障診断を作業要領書にそって訓練する。			
	551～570	作業内容の効率化について討議することで、考察力を高める。			
評価方法	日常の授業態度、習熟度テスト、期末試験等を総合的に判断して行う。				
教科書・参考図書	日本自動車整備振興会連合会： 一級自動車整備士エンジン電子制御装置、一級自動車整備士シャシ電子制御装置、 一級自動車整備士自動車新技術、一級自動車整備士総合診断・環境安全・安全管理、各修理書				
関連科目					
連絡事項	定期試験として、各期末に試験を実施（計2回）する。 試験時間は50分とする。 試験範囲や配付資料については、随時連絡する。				